



ソメイヨシノ



ヤギ

梅(ウメ)



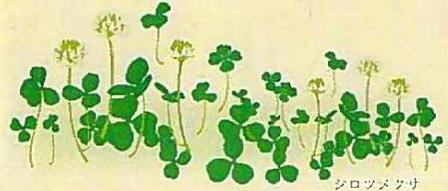
キバタン

キバ

夏鳥の羽が
目撃でき

春から夏、動物園は花ざかり

園内には、ソメイヨシノやオオシマザクラなど約145本のサクラがあり、見頃のシーズンはとても華やかになります。5月頃にはツツジが咲き、梅雨に入れば、アジサイが花開きます。京都の森の木々も葉を生き茂らせ、心地良い緑陰を作り出します。



シロツメクサ



ナツツバキ

ガクアジサイ

ツエクサ

京都の森

京都の森では、小さな田んぼで「動物園米」を育てています。

春に咲くレンゲは、田んぼにとって重要な植物です。レンゲは根に根粒菌という微生物を共生させて、栄養を作り出します。そのレンゲを田んぼに混ぜ込むと、緑肥と呼ばれる肥料になり、豊かな土を作ります。



春

夏になると、稲はすくすくと成長します。穂が出る前の青々とした田んぼを「青田」と言い、夏の季節にもなっています。田んぼには琵琶湖の水を引いており、そこではホタルの幼虫も育てています。



夏

緑の取り組み

屋上菜園

ゴリラのおうちの屋上には小さな菜園があり、ゴリラたちに旬野菜を楽しんでもらうため、ゴリラの大好きな落花生やトウモロコシなど、色々な種類を育てています。



トウモロコシ、オクラ、ナス、ピーマン、ミニトマト (ニッコウゴリラ)

グリーンカーテン

夏の暑い日差しを和らげるため、動物舎のまわりにヘチマやゴーヤを植えて、緑陰づくりをしています。ソウの糞を肥料として活用するほか、できた実は動物たちの園にもなります。



ヘチマ



- サクラ
- アジサイ
- カシワバアジサイ
- レンゲ
- サルスベリ
- ナツツバキ
- ユキヤナギ
- ヒラドツツジ
- エゴノキ
- ヤマボウシ

京都市動物園 植物の見頃カレンダー

3月	4月	5月	6月	7月	8月
サクラ					
ユキヤナギ					
	ヒラドツツジ				
		アジサイ			
			ナツツバキ		
				サルスベリ	

季節の花

ソメイヨシノ
【バラ科】
一般的なサクラの品種で、オオシマザクラとエドヒガンという品種をかけ合わせて作られました。

ユキヤナギ
【バラ科】
産れた枝いっぱいに小さな白い花を咲かせる様子から、雪が積もったように見えることから名前がつけられました。

ヒラドツツジ
【ツツジ科】
春に大きな花を咲かせるツツジです。花の中央へと集まる穂状花、花柄を池泉田舎の垣根を知らせています。

エゴノキ
【エゴノキ科】
前陣状の白い花を咲かせます。昔は古い薬を調製して毒薬として使用したことから、別名シヤボソノ中とも呼ばれています。

ヤマボウシ
【ミズキ科】
花の形が白い雲を被ったお母さんのおうたというので、「お母さん」と名前がつけられました。

アジサイ
【アジサイ科】
花の色がよく変わるため七変化とも呼ばれます。花びらのような部分は「花びら」と呼ばれ、花柄や蜜を指します。

ナツツバキ
【ツバキ科】
花の形がツバキに似ていて、夏に開花するところからその名前がつけられました。白い可憐な花を咲かせます。

サルスベリ
【ミソハギ科】
白、紅、紫、ピンクなど花の色があります。サルでも滑ってしまいそうなるつるした樹皮が老翁の山猿です。

